



試すっ子

学校教育目標「試す人になろう」 No.12

よく学び よく遊べ

校長 中野 主税

71日間という1学期が終了いたします。保護者や地域の皆様の御支援・御協力に心より感謝申し上げます。

夏休みこそ、「よく学び、よく遊べ」を！

私の小学校時代、「よく学び、よく遊べ」という言葉をよく聞かされました。これが、子供のあるべき姿であると、知らず知らずのうちに、心の中にインプットされていたように思います。私が、学校に行く目的には、たくさんの友達と群れて遊ぶことと、放課後に遊ぶ約束をして帰ることの二つでした。**雨の日以外は、外で遊ぶことが当たり前**で、日が暮れるまで遊んでいました。こんな時代でも、子供が暗くなるまで遊んでいると、「悪い人に連れて行かれるよ。」と言われていましたから、陽が落ちると、急いで遊びをやめて家に帰ったものでした。まりつき、石けり、缶けり、石で書いた陣取り、ソフトボール、ドッジボールなどにのめり込み、遊びの中には欠かせない勝ち負けを通して、悔しさと同時に負ける我慢というものを覚えました。今思えば、**子供たちだけでつくり上げた社会があり、ルールがあり、倫理観があり、その中で育ち、育てられてきたように思います。**

現代は、子供たちが群れて遊ぶのに欠かせない三つの「間」が少なくなったと言われています。不審者の出没や車社会などの社会現象がつくりだした「安全な空間」、塾や習い事による「放課後の時間」、そして、友達との強いつながり「仲間」です。

しばらく前から、夢や希望をもたない（もてない）若い人が多くなってきたと言われています。日本・米国・韓国・中国の高校生に対する意識調査を見ますと、日本の高校生は、学習意欲も遊ぶ意欲も働く意欲もすべて平均より低い傾向が続いています。そして、自分の将来については、「食べていけるだけの収入で楽に暮らしたい。」と答える割合も多い傾向にあります。

これからの日本は、「自立し挑戦する人」をどのように育てていくかが喫緊の課題だと言われています。この意味からも、「よく学び、よく遊べ」という子供時代の原点への回帰が必要であり、学校・家庭・地域は真剣に考えていかなければならないと思います。

子供の頃にしかできないことをたくさん、そして思いっきり体験させてあげることが、将来たくましく生きる力の源になるということを信じて、光明小学校でも、『試す人になろう』を教育目標として、自分に自信をもち、仲間とかかわる力の育成のためにさまざまな教育活動に取り組んでいきます。

41日間の夏休み、**事故やけがもなく、病気にもならず元気に過ごしてほしい**と思っています。8月29日（木）に、大きく成長した子供たちに会えるのを楽しみにしています。



【5年生：米作り講座の様子】